

おお大勝利

平成 30 年度山東サッカー部報第 1 号 (4 月 11 日)

サッカー部保護者の皆様、OB・OGの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

春の関東遠征を終えて

いよいよ 2018 年シーズン始まります！

この部報が続行されているということは・・・部報作成者である顧問（私）が異動せず、残留したということです（**山東 13 年目**に突入！）。皆さま、今年も山東サッカー部並びにこの部報（そして**この部報を UP して下さっている後藤報道局長**編集の山東サッカー後援会 HP）を宜しくお引き立てのほどお願い申し上げます（この部報も 13 年目！¹）。

さて、雪解けとともにピッチでの活動も再始動し、学年末テスト・高校入試の中断を経て、いよいよ 3 月後半からシーズン入りに向けた準備が本格化しました。山南との練習試合を皮切りに、東海、電波と試合を重ねる。

そうした中で調子を上げて行きたいところですが、**今年、昨年以上に人数が少ない**。もともと選手 21 名しかいない新 2・3 年生に休部者やけが人²やら体調的に厳しい者³がいて、まともに A チームのメンバーを組めないし、A B 2 チーム構成できない。毎年メンバーに苦慮し、「あとは新入生に期待する」と在校生を突き放すのですが、今年は本格的に新入生に期待するしかない。特に 3 月末に予定している関東遠征では大会に 2 チーム分エントリーしているので、新入生を複数人連れて行かなければいけないと焦る（3、4 名いや 4、5 名欲しいと焦る）⁴。けが人の多さ等を考えるに、新入生だけでは心許ないと考え、**OB ユートとサンペー**の 2 名（ともに山東 67 回卒⁵）には事前に声をかけておりました。

あっちなみに！ この部報の愛読者の方であれば、一昨年度久しぶりに選手権予選まで現役を続けプレーし、惜しくも現役合格は勝ち取れず、とある予備校に入塾しつつも、（入塾前に）関東遠征やら（入塾後に）Y リーグやら県総体等々に足しげく通い応援して

¹ 当初は、本校応援歌の題名を拝借し、「おお勝利」名で部報を発行しましたら、応援団報とかぶり、応援団員よりダメだしを頂戴しました。しかし、「重なって何が悪い」と内心むくれていたもので、「おお大勝利」と 1 文字加えてごまかし、現在に至っています。

² 3 月中旬時点では、主将の**フトシ**も 1 月の足首の骨折により、まだまともにプレーできなかったし、同じく一つ上の代の試合にも出ていた**キクチャン**も、フルにはプレー出来なかった。それ以外にも、「故障好き」のアキシンも次から次へと新しい故障箇所を獲得していました。

³ **マスコッチ**は、関東遠征中、マネージャーと同じ仕事やスカウティングを担当し、プレー以外の面でチームを支えてくれました！

⁴ 少ない人数を考慮し 1 チーム分のエントリーに留めることも出来ますが、そうすると一人ひとりの出場時間が少なくなる、もしくは、出場できない選手が出てしまう、というので、これは採りたくない策。

⁵ この春卒業した**ハレル**の代が 68 回卒になります。

くれた**サッカー小僧ユート**をご存知かと思いますが・・・そのユート、**このたびの入試で見事東北大学経済学部**に合格いたしました！！ AOⅢ期というルートで早々と合格を決めてくれた⁶。

話を戻しまして、2名のOBでは足りないだろう（そんなに多く新入生は関東遠征に行かないだろう）と予測し、禁じ手とは思いつつ（背に腹は代えられず）、昨年ユートという先例を得ていますのでお許しを。今年「入塾」や「入台」した卒業生にも声をかける。すると、**カイトとベジ**（68回卒）が快諾してくれた⁷。また、遠征前日にキャンセル者が出て、「席が空いた」⁸ので、今年医学科に合格を決めた知る人ぞ知る**ムンタリ**（66回卒）にも声をかけると、少考後、快諾してくれた。結局、OB5名の参加が決定。新入生は結局、**ツノケン**（60回卒）の従兄弟**カクタことツノダ**（ジェラーレ出身）1名のみ参加。ということで、6名の人材のアウトソーシングに成功。注3のマスコッチを除くと、遠征で試合に出られる在校生選手は18名しかいないので、6名の外注人材により、ようやく2チーム分出来上がる（しかもわずかながら余裕がある）。遠征前ですが、本当に一安心しました。

だって、ムンタリが新3年生になるときの遠征では、もともと新3年生が8名と少ない学年だったということや、故障者が出たという事情により、**春の関東遠征によってチームがボロボロになった経験がある**んです。3年前の春の部報ではこう書きました。

苦しいチーム状況が元気な選手を酷使することにつながり、疲労をためてフレッシュするその元気な選手も故障してしまう悪循環にはまり、日を追うごとにチーム状況はボロボロ。遠征でたくましくなり、徐々にチーム力が高まっていくのが遠征の理想ですが、選手がフレッシュだった遠征初日が一番チーム力があつたのでは、などと感じられるようではちょっと厳しい。

選手には、このままでは今年も3年前と同じ状況になってしまうと警鐘を鳴らしておりました。6名の外注人材により、遠征に見通しが立ったというわけです。

さて、3月28日朝6:30出発。**遅刻者がまた出て、出発がまたしても10分ほど遅れた**のは、今年のチーム、というか**新2年生のだらしなさ**を物語る。行き先は、埼玉県の花咲徳栄高校。28日に埼玉で試合をしてから千葉の大会に出る、という数年前と同様の行程。マッチメイクを手伝ってくれたのは、29年度部報12号で紹介した**名和トレーナー**。山形東サッカー部で華麗なトレーナー歴をスタートさせ、その後、スイスに渡り、**SVホルンのトップチームのトレーナー**を務め、**2017年夏からはドイツのSCフォルトゥナ・ケルンというチームのU-19カテゴリーで専属メディカルトレーナーを務めている**⁹。名和さんをつてにして埼玉のジュニアユースチームSHIRAOKA K's FCの指導者を紹介して頂

⁶ ほんでもって2月の合宿や3月の練習にもずっと参加してくれた。練習オフの日は、自主連として走りこんでもいました（日中市内を車で走っていたら、ランニングするユートと偶然遭遇しました）。**メッシ、シマヌキ**（62回卒）、**ショータ、ホリゴメ**（63回卒）に次ぐ東北大サッカー部員がおそらく誕生するでしょう。そして、一人では入りきれなかった小心者のサンペー（東北大工学部2年）も、ユートに釣られて入るのではないのでしょうか。

⁷ そういえば、彼らが新入生だったときには、関東遠征に、ヒロ、ベジ、カイト、カンタ、タイセイの5名が参加してくれた。これが過去最多。昨年のオサ1名が最少。

⁸ 実際、28人乗りの中型バス、ギリギリの人数だったが、前日に1名分の席が空いた。

⁹ トップチームは古豪ながらブンデスリーガ3部に甘んじているものの、U19は1部に所属する強豪。

き、その方が花咲徳栄との3チーム合同の練習試合を組んで下さった。この場を借りまして、**名和さん、K's FCの石塚さん、ありがとうございました。**

花咲徳栄高校に到着して、まず驚いたのは、敷地が広すぎて、どこにサッカー場があるか分からない、ということ。ひとしきり歩いて、やっとグラウンドに到着。山形からのバス移動も合わせ、「やっと到着したよ」という肉体的・精神的疲労を感じましたが、**満開の桜**が癒してくれる。試合は、ジュニアユースチームのテクニク・状況判断の素晴らしさ、花咲徳栄高校の攻撃における緩急の見事さに感嘆。山東は、攻撃はやや見るものがあった。守備は課題多し。ただ、試合で何を共通認識にすべきか、整理する良い機会となった。

埼玉を後にして、首都高の渋滞に巻き込まれながらも、8時過ぎに千葉のバーディーホテル千葉に到着。朝食のみのプランだったので、一人1000円を渡し、「勝手に食べて来い」作戦。毎回これだと厳しいと思うが、たまにこういうのも良いと感じさせる（自分で自分の食事を決定する自主性を養えるから）。

二日目以降は、毎年参加させてもらっている**千葉のファミリーサッカー大会。今年で36回**を数える。**前顧問の晃先生**も山形東の一員としてこの大会に出だし、私も出ている。歴史を紐解けば、順天堂大学を出て一度千葉県の高校に就職しその後山形県の公立高校の教員を長らくお勤めになった**柴崎先生**¹⁰が、「山形のチームも出られる大会を千葉で作って欲しい」と千葉の指導者仲間にお願ひし、作ってもらった大会だと、どなたかからお聞きしたことがある（だから、以前から、千葉のチームと山形のチームが大会に出場している）。

今年は、例年最終日(3/31)にお邪魔している**茂原北陵高校**さんに、初日(3/29)にうかがうことに。去年は、茂原北陵さんと締まった試合をすることができて、チームの仕上がりに手応えを感じた。対して今年、軽い守備の連続で、簡単に失点を重ねてしまい、ゲームを作ることが出来ない。時折相手ゴールに迫るものの、結局はゴールを割ることが出来ず、完敗。この試合で、**新入生カクタ**がアンラッキーにも手首を故障してしまう。まだフィジカル的には(彼のトップフォームが)戻っていないし、高校生のスピードに後手を踏んではいるが、**技術と判断力が高い**。そして、**一人でも遠征に参加するやる気が頼もしい**(去年のオ〇と同様)。Bは茂原樟陽さんと北陵さんと試合をやらせてもらうが、分かっていたことではあるが、目立つのはOB。ラインズマンを買って出ているムンタリも、少しの時間出場。

3/30は**市立千葉高校**さんにお邪魔する。忘れずに書いておきますが、**今年千葉大工学部に合格したネイマール**(68回卒)が、日程の終わり際に応援に来てくれた(遅いぞ)。陸上選手みたいなジャージ着てるんで、「ランニングでもするの?」と軽く振ると、「陸上部か陸上サークルに入って長距離走するつもりです」と来たもんだ。本気だったのね。さて、市立千葉さんとの試合は諦めずに最後まで粘った姿勢が良かったし、千葉で行われた米沢興譲館との試合は、試合の入りから(最初から)しっかり気合が入っていて頼もしく感じました。

最終日3/31は中台運動公園にて**成田高校**さんと。内容は決して褒められたものではあ

¹⁰ 私たちのころは、山形工業高校のサッカー部の監督さんでした。べにばな国体の少年のチームのスタッフの一人であり、私は選手としてお世話になりました。

りませんでした。ABともに得点することが出来て、一定の成功体験を積むことが出来た¹¹。ピッチは最高の人工芝、ピッチ脇には満開の桜、のどかな天気と恵まれた環境でサッカーをして、山形への帰路に就きました。

大きな故障者を出さずに遠征を乗り切り、チームの約束事を確認したり、自分たちの長所や課題を整理できたのは、とても良い経験となりました。OB5名は選手のミーティングにも参加してくれて、それぞれの言葉でアドバイスしてくれて、現役選手の気付きを促してくれました。**本当にありがとう。**何より今回、(3年前のように)故障者続出とはならなかったのは、君たちのおかげです。プレー面でも、後輩のお手本となっていました¹²。

お世話になったサッカー関係者の皆様、食事時間など柔軟に対応して頂いたりミーティングの場所等お世話になりましたバーディーホテルの皆様、ありがとうございました。また、保護者会の皆様より激励金頂戴しました。ありがとうございました。

いよいよ、リーグ戦が始まり、シーズンインです。Yリーグで調子を上げ、Mリーグ(村山地区リーグ)・地区総体に臨み、まずは県総体への出場を決めたい。応援よろしくお祈りします。

4月14日(土) Y2A第1節 VS 長井 16:00~ @米沢人工芝サッカーフィールド

サッカー部進学実績公開!

初めての企画になりますが、今年サッカー部員(含むOBOG)の進学先を公開します。ここ数年憤慨していることに、どうやら塾関係者を主として、山東の運動部に対して、「〇〇部に入ったら勉強できなくなるぞ」などの情報を流している模様。サッカー部はその〇〇の筆頭といったところ。「勉強が大切な山東で〇〇部に入ったら終わり」などの言葉を流し、勉強中心の生活をさせ塾にも通わせる、といったところか。そうしたデマを真に受けてしまう生徒・保護者もいるのが事実。サッカー部への入部を迷った生徒(マネージャー希望)の親が、「大学諦めるの!」と娘に迫り、入部を止めさせたなんてことも〇年前にありました。いわゆる**風評被害に合っている**のです。数年前から、「だったら、**サッカー部員がいかにか文武両道を実践しているか**、進学実績を公開して、風評に対抗してやろう。」と思い、機をうかがっておりました。で、いよいよ今年、行動開始。以下の通りです。

¹¹ BではユートがPKを獲得し、誰が蹴るのかと注視していたところ、ユートがそのまま蹴ってゴールを決めた。でもね、得点しユートの調子を上げて山形東としては何も得るものがない。**FWとして出場しゴールを目指し渴望しながらなかなか結果を上げられないでいた新3年バサシ**は、顧問より、「なぜ『自分に蹴らせてくれ』と言わないんだ。そんな消極的でもいいのか。」と叱責を受けました。ユートには、「おいユート、ここはバサシに譲るところだろ(苦しんでいる現役選手を立てろよ。)」と注文をつけると、「ここは俺も譲れないんで(頼まれても断ってました、だって俺が得たPKですし、俺も得点したいので。)」との返答。その図太さに閉口するとともに、これこそがFWだな、とも思いました。**分かったかババ! ボールを奪ってでも蹴るんだよ!!**

¹² 運動不足から安全運転だったムンタリさんも、徐々に出場時間が伸び、最終日には結構声を出していたし、魂のスライディングも見ることが出来ました。

2018 年入試 サッカー部進学実績（現浪合わせ）

【国公立】

東京大学	文科Ⅱ類	1名合格
東北大学	医学部	1名合格
	経済学部	3名合格
山形大学	医学部	1名合格
	地域教育学部	1名合格
宮城教育大学	教育学部	1名合格
千葉大学	工学部	1名合格
大阪大学	外国語学部	1名合格

【私立】

独協医科大学	医学部	1名合格
明治大学	商学部	1名合格

【浪人】

7名

いかがですか。今年は浪人生も含め、私立への進学が少なく国公立への進学者が多かった。また、東大や東北医などの超難関にも進学することが出来た（あと、悪い特徴としては、今年は浪人生が例年より多かった）。などなど、毎年のことではない特徴はありますが、**サッカー部員がサッカーだけでなく勉強もしっかり取り組んでいること、（他の部も含め）山形東が文武両道の校是の通り部活動にも真剣に打ち込みつつ勉強もしっかりやっていることがよくわかる実績ではないでしょうか¹³。**

誤った風評をしっかりと跳ね除け、「国家の運命雄雄しく負わん」（校歌 3 番）という王道を歩み続けましょう。そのためには**現役生諸君、しっかり勉強もやりなさいね。**

¹³ ちなみに齋藤 GK コーチがよく言っているのですが、「俺がコーチになってから、**GK は現役合格を続けている**」とのこと。今年もハレルは見事やってくれました！

ナカジマスポーツさんより ミニゴール頂きました

山形東サッカー部は、部全体での購入品は主にカスカワスポーツさん、個人用は**ナカジマスポーツさん（河北町）**にお願いしています。個人用は、以前山形市のサッカーショップにお願いしていたのですが、そこの倒産を受け、現役生の保護者（注15のハレル親）が経営されているナカジマスポーツさんにお願いすることになり、現在もお付き合いが継続中です。

それで、ハレルの卒業・合格に合わせ、ナカジマスポーツさんよりサッカー部に貴重なもの頂戴しました。なんと**豪華ミニゴール1セット！！**持ち運び可能なタイプ（折り畳み式）。しかも、**ネットには山東の校章がデザイン**されている！素晴らしいものを頂戴しました。

ナカジマスポーツさん、ありがとうございました。大切に利用させていただきます。今後とも、よろしくお願いします！